

第 6 学年外国語活動指導案

尾道市立日比崎小学校

指導者 H R T 小学校教諭

J T E 中学校教諭

会話が续くように質問したり受け答えをしたりしながら、行ってみたい国について中学生と進んで交流する授業

- 1 日 時 平成 2 4 年 1 1 月 1 9 日 (月) 第 5 校 時
- 2 学 年 第 6 学 年 1 組 3 0 名
- 3 場 所 6 年 1 組 教 室
- 4 単 元 名 「 行 っ て み た い 国 を 交 流 し よ う 」
- 5 単 元 に つ い て

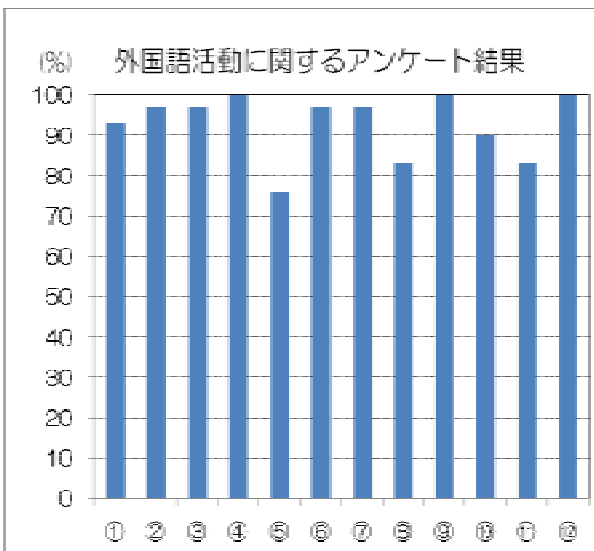
本単元では、総合的な学習の時間「日比崎旅行会社」と関連させ、広島県内に住んでいる A L T や留学生と行ってみたい国を交流することをゴールに設定した。自分の行ってみたい国を交流する活動を通して、外国の文化や相手の思いを知るために、進んで会話をつなげていくことをねらいとしている。会話をつなげようとする中で、相手に思いを寄せて話したり、きいたりしようとすることができ、交流したことから、世界の国の多様な文化にふれることもできる単元である。

そのために必要となる主な言語材料は、“Where do you want to go?” “I want to go to ___.” の行ってみたい国を伝え合う表現や、会話を深めるために質問する“Do you like ___?” や“How about you?” などである。児童は、他教科の学習でも「きき方・話し方モデル」にもあるように友達の考えをきき、それに対して質問をする学習を深めている。外国語活動でも同様に、相手の思いや考えを知るためには、質問をして会話をつなげていくことが大切であることに気付かせることができる点でも有効である。

児童は、11・12月の単元「夢を英語で語ろう～ひびっこスピーチコンテスト～」において、複数の友達を前に自分の思いをいろいろな方法で伝えることを学習している。大勢の前でスピーチした前単元と、A L T や留学生に自分の行ってみたい国を交流する今回の単元とは、伝える相手や内容が異なる。これらの学習を比較して、相手や場の違いを意識させながらも、これまでに身に付けた「話す・きく力」を本単元で効果的に活かすことができると考える。

単元構成の第 1 時で、「Hi, friends! 2」の Lesson 5 を活用し、日本と外国の文化について共通点や相違点に気付かせるようにする。

外国語活動についてのアンケートの結果、本学級の児童の実態は次の通りであった。



自分からすすんで友達にかかわろうとしている。
相手の目を見て話そうとしている。
相手に伝わる声の大きさと話そうとしている。
知っている言葉を使って話そうとしている。
ジェスチャーや表情を加えて自分の思いを伝えようとしている。
話している人を見て聞こうとしている。
反応を返しながら聞こうとしている。
分からないことは聞き返そうとしている。
相手の話のたいを聞き取るようとしている。
相手が言いたいことは何か、考えながら聞こうとしている。
外国語活動を通して、友達ともっと仲良くなったり、新しく友達のことを知ったりすることができる。
英語を使って話したり、きいたりすることができるようになりたい。

全体的に、数値も高く、児童は外国語活動に意欲的に取り組んでいる。中でも、きくことについては、**や**に対して **や** の項目の数値が低いことから、話のおおまかな内容はきいているが、相手の思いに寄り添いながらきこうとすることができにくいことがわかる。相手の思いを受け止めるためにも分らないことはきき返したり、質問したりしながら、相手の思いに寄り添いながらきく力を高めるための指導が十分でなかった。

話すことについては、知っていることばを使って話そうとすることはできているにもかかわらず、進んでかかわろうとする意欲面に課題があることが分かる。そこで、これまで学習してきたことばを使うことによって、かかわりを楽しむことができることを実感させて自信をもたせ、進んでかかわろうとする意欲を高めたい。

指導にあたっては、以下の点に留意する。

- ・本単元は、総合的な学習の時間での単元「日比崎旅行会社」で調べた世界の文化の情報をもとに、自分の興味をもった国を伝え合う活動を設定している。友達だけでなく、市内のALTや留学生と交流することをゴールに設定することによって、いろいろな人とかかわりながら、多様な文化や考え方にふれることができるようにする。
- ・第1時では、ゴールのやりとりのイメージをつかませ、行ってみたい国を交流する時の英語表現に慣れ親しませながら、それぞれの国には大切にされてきた自然や文化、習慣があることにも気付かせる。そのために、「Hi, friends! 2」を活用したり、ALTが行ってみたい国をランキング形式で紹介したりしながら繰り返しかせるようにする。
- ・第2時では、相手と会話のやりとりを続けていくために、相手の話の内容に応じて、どのような質問ができるかに気付かせ、その表現に慣れ親しませる。そのために、これまでに学習してきた表現を想起させ、どんな表現をつかってやりとりができそうか考えさせる。
- ・第3時では、知っている表現を組み合わせて、行ってみたい国のことを話したりきいたり、質問したりする表現のやりとりに慣れ親しませる。グループを作り複数で質問を考えさせながらやりとりをすることによって、知っている表現を組み合わせたやりとりの仕方に慣れさせる。
- ・第4時では、中学生と行ってみたい国をやりとりし、相手の状況や話の内容に応じたよりよい表現の仕方やかかわり方に気付かせる。そのために、中学生に行ってみたい理由やおすすめポイント、質問などの表現をたくさん教わったり、こんな表現もできるというアドバイスをしてもらったりする。
- ・第5時では、行ってみたい国を理由付けて伝えたり、興味をもったことを質問したりしながらALTや留学生と進んで交流しようとするようにさせる。そのために、ALTや留学生には、児童の話に大きく反応したり、質問などを多く投げかけてもらったりするようにして、交流を深められるようにする。
- ・単元を通じて、日本と外国との文化の相違点や共通点に気付かせる。そのために、トピックスやチャンツなどに日本や外国の世界遺産や代表的なスポット、料理などを紹介する場面を設ける。

6 目標

進んで行ってみたい国を交流することを通して、外国の文化や相手の思いを知ろうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

相手の行ってみたい国やその理由から相手のことをより知ろうと、質問を考えながらきく。

(外国語への慣れ親しみ)

学習した英語表現を活用して、行ってみたい国について話したり質問したりする。

(外国語への慣れ親しみ)

外国の多様な文化を知り、日本と外国の文化の共通点や相違点に気付く。

(言語や文化に関する気付き)

7 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国の文化や相手の思いを理解するために、積極的に行ってみたい国について伝えたりきいたりしようとしている。	A
外国語への慣れ親しみ	相手からきいた話に関連付けながら、質問をしている。	B
	知っている表現を組み合わせて、行ってみたい国を紹介したり質問に受け答えをしたりしている。	B
言語や文化に関する気付き	日本と異なる文化を知り、外国と日本の文化を比較して、共通点や相違点に気付いている。	C

8 活動計画 (全5時間 本時4 / 5時)

時	内容	評価の観点			評価方法
		関心 意欲 態度	慣れ 親しみ	体験的 理解	
1	<p>行きたい国をたずねたり伝えたりする英語表現をきこう。 行ってみたい国を交流するときの英語表現をきく。</p> <p>(外国語への慣れ親しみ) 日本と異なる文化を知り、外国と日本の文化を比較して、共通点や相違点に気付いている。 (言語や文化に関する気付き)</p> <p>【What country? クイズ】 【行ってみたい国は? クイズ】 A: Where do you want to go? B: I want to go to (国). A: Why? B: Because I like _____. / I want to see/eat/play/enjoy _____. (_____ is good/delicious/beautiful.) (_____ is popular in (国).)</p>				<p>行動観察 ワークシート 振り返りシート</p>
2	<p>相手の話の内容に合わせて会話を続ける表現をきき、表現を選んで質問しよう。 相手が言ったことに合わせて質問している。 (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>【どんな質問ができるかな?】</p>				<p>行動観察 ワークシート 振り返りシート</p>

	<p>[基本となる表現]</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to (国). <場所を知っているとき> <知らないとき> A: Why? A: Where is ___? B: ___ is here. A: Why? B: Because I like ___. / I want to see/eat/ play/enjoy ____. (___ is good/delicious/beautiful.) (___ is popular in (国).)</p> <p>[相手の状況や話す内容に応じた表現]</p> <p>A/B: Do you know ___? A/B: Yes. /No. A/B: Do you like ___? A/B: Yes, I like ___. /No, I'm sorry. A/B: What's your favorite ___? A/B: My favorite ___ is _____. A/B: How about you?</p>				
3	<p>知っている表現を組み合わせるとして会話を続けよう。 知っている表現を組み合わせるとして、行ってみたい国のことを話したりきいたり、質問したりしている。 (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>【会話をつなげよう】</p> <p>[基本となる表現]</p> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to (国). <場所を知っているとき> <知らないとき> A: Why? A: Where is ___? B: ___ is here. A: Why? B: Because I like ___. / I want to see/eat/ play/enjoy ____. (___ is good/delicious/beautiful.) (___ is popular in (国).)</p> <p>[相手の状況や話す内容に応じた表現]</p> <p>A/B: Do you know ___? A/B: Yes. /No. A/B: Do you like ___? A/B: Yes, I like ___. /No, I'm sorry. A/B: What's your favorite ___? A/B: My favorite ___ is _____. A/B: How about you?</p>				<p>行動観察 ワークシート 振り返りシート</p>
4 (本時)	<p>会話を続ける極意を知るため、中学生と交流しよう。 行ってみたい国について、中学生に積極的に伝えたりきいたりしようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 知っている表現を活用して、中学生に行きたい国のことを話したりきいたりしている。 (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>【行ってみたい国を交流しよう】</p> <p>[基本となる表現]</p> <p>A/B: Hello, (名前).</p>				<p>行動観察 振り返りシート</p>

	<p>A: Where do you want to go? B: I want to go to (国). <場所を知っているとき> <知らないとき> A: Why? A: Where is ___? B: ___ is here. A: Why? B: Because I like ___. / I want to see/eat/ play/enjoy ____. (___ is good/delicious/beautiful.) (___ is popular in (国).) A/B: Thank you. A/B: You are welcome. [相手の状況や話す内容に応じた表現] A/B: Do you know ___? A/B: Yes. /No. A/B: Do you like ___? A/B: Yes, I like ___. /No, I'm sorry. A/B: What's your favorite ___? A/B: My favorite ___ is ____. A/B: How about you?</p>				
5	<p>A L Tや留学生と行ってみたい国を交流しよう。 行ってみたい国について、A L Tや留学生に積極 的に伝えたりきいたりしようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) 日本と異なる文化を知り、外国と日本の文化を比 較して、共通点や相違点に気付いている。 (言語や文化に関する気付き) 【行ってみたい国を交流しよう】 [基本となる表現] A/B: Hello, (名前). A: Where do you want to go? B: I want to go to (国). <場所を知っているとき> <知らないとき> A: Why? A: Where is ___? B: ___ is here. A: Why? B: Because I like ___. / I want to see/eat/ play/enjoy ____. (___ is good/delicious/beautiful.) (___ is popular in (国).) A/B: Thank you. A/B: You are welcome. [相手の状況や話す内容に応じた表現] A/B: Do you know ___? A/B: Yes. /No. A/B: Do you like ___? A/B: Yes, I like ___. /No, I'm sorry. A/B: What's your favorite ___? A/B: My favorite ___ is ____. A/B: How about you?</p>				<p>行動観察 ワークシート 振り返りシート</p>

9 本時の展開

(1) 本時の目標

行ってみたい国について、会話をつながけながら中学生に積極的に伝えたりきいたりしようとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

学習した英語表現を組み合わせ、中学生に行きたい国のことを話したりきいたりしている。

(外国語への慣れ親しみ)

(2) 準備物

行ってみたい国を紹介する写真，振り返りシート

(3) 学習の展開

ACTIVITIES 支援()・評価()		
Children	HRT	JTE
1 あいさつ Hello, ____. I'm __ thank you. And you?	<p>小・中合同学習</p> <p>Hello, everyone. How are you? I'm __. Thank you. 先生や中学生など挨拶をする相手に顔を向け、丁寧に挨拶ができるようにさせる。</p>	<p>Hello, everyone. How are you? I'm __. Thank you. 挨拶をして、英語の始まりの雰囲気作りをする。</p>
2 トピックス	<p>JTEの行ってみたい国の紹介に対して、うなずいたり、きき返したり、質問をしたりしながらやりとりをし、かかわり合いの目標とする姿を示して意識化させる。 会話をつなげるためのやりとりの仕方を振り返らせる。</p>	<p>HRTと行ってみたい国の交流を行う。 やりとりをきいて、よかったところやアドバイスを中学生に求め、アドバイスの仕方のイメージをつかませる。</p>
3 主活動 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習した表現を組み合わせ、会話をつながけながら、中学生と積極的に交流しよう。</p> </div> <p>会話をつなげるためのポイントとなることを整理しながら確認する。 ・分からないとき：きき返す ・相手の表情や言葉の反応に対して：質問をしたり情報を伝えたりする ・相手意識をもった気持ちのよいかかわりのために：挨拶，表情，伝わる声</p>	<p>中学生ブース (中学生と学習のめあてを確認する。)</p>
スキットを練習する。	<p>ペアになることで相手を意識させながら、基本的な会話のやりとりを練習する。</p>	

[基本となる表現]
 A/B: Hello, (名前).
 A: Where do you want to go?
 B: I want to go to (国).
 <場所を知っているとき> <知らないとき>
 A: Why? A: Where is ___?
 B: ___ is here.
 A: Why?
 B: Because I like ___. / I want to see/eat/
 play/enjoy ____.
 (___ is good/delicious/beautiful.)
 (___ is popular in (国)).
 A/B: Thank you.
 A/B: You are welcome.
 [相手の状況や話す内容に応じた表現]
 A/B: Do you know ___?
 A/B: Yes. /No.
 A/B: Do you like ___?
 A/B: Yes, I like ___. /No, I'm sorry.
 A/B: What's your favorite ___?
 A/B: My favorite ___ is _____.
 A/B: How about you?

活動をする。

小・中合同学習

【行ってみたい国を交流しよう】

中学生とペアになり、自分たちの行ってみたい国を交流する。学習した英語表現を使って会話をつなげていく。良かった点や改善点について中学生からアドバイスをもらう。

発話に自信がなかったり、英語表現を忘れていたりしたときには、中学生やペアとなっている児童に助けをもらいながら伝えようとするようにさせる。
 分からない表現があるときには、日本語を交えてでも伝えようとしたり、知っている表現を組み合わせで伝えようとしたりしている姿を認める。
 会話を続けることに不安の大きい児童には、質問できそうなことや返答をある程度予測させておいたり、自分の質問に対して自分の答えを準備させておいたりしながら、一方的な紹介だけに終わらないようにさせる。
 友達にアドバイスをしたり、会話をつなげるために相手に質問をしたり、相手の思いを受け止めながらきいて答えたりしようとしている児童を認める。
 自分が交流する順番以外では、友達の伝

英語表現が分からない児童に英語表現をきかせたり、会話をつなげるために質問を考えて話したりしている児童をほめる。
 小学生が伝えたいことが伝わっているときには、大きく反応をしながらきいて自信をもたせるようにする。

<p>4 振り返り</p>	<p>え方をきかせ，よさや改善点を見つけさせて，アドバイスしている中学生の評価と比較できるようにさせる。</p> <p>中学生にモデルスピーカーになってもらい，英語をきかせてもらったり，改善点について繰り返しながら練習したりできるようにさせる。</p> <p>中学生から，会話が続かなかった時の質問の仕方や返答の仕方，表情や声の調子などの話し方などについて，必ず一つは改善点を伝えてもらうようにし，中学生から学ぶことのよさ，中学生に感謝する気持ちを味わわせる。本時の学習で学ばせたい，質問によるかかわりの充実や積極的で気持ちのよいかかわりのための表情，相手を意識した声の大きさについて，特に中学生からアドバイスをもらうようにする。</p> <p>2組程度交流が終わったところで，中学生から全体にかかわるアドバイスをもらい，後半の活動に向けての課題意識をもたせる。</p> <p>行ってみたい国について，中学生に質問したり，返答に対して必ず反応を返したりしながら，会話をつなげて話そうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】(行動観察・振り返りシート)</p> <p>学習した表現を組み合わせて，相手にききたいことを質問したり，質問をきき取って答えたりしている。【外国語への慣れ親しみ】(行動観察・振り返りシート)</p> <p style="text-align: center;">小学生ブース</p> <p>中学生からアドバイスしてもらったことを振り返らせ，本時のねらいが達成できたどうか自己評価させる。</p> <p>友達のやりとりをきいて，よかったところを相互評価させ，認め合わせる。</p> <p style="text-align: center;">小・中合同学習</p> <p>小学生は，中学生との交流を通して学んだこと(伝え方やかかわり方など)を中学生に伝え，本時の学習を次の交流に活かせる</p>	<p>中学生にアドバイスを促し，交流を通して気付いたことを全体の場でアドバイスさせる。</p> <p style="text-align: center;">中学生ブース</p> <p>(中学生と本時のめあてにそって振り返りをする。)</p> <p>中学生は，小学生の伝え方で気付いたことを紹介する。</p>
---------------	---	--

<p>5 あいさつ</p> <p>Let's finish English class. Thank you __.</p> <p>Good bye.</p>	<p>ようにさせる。</p> <p>HRTは、小学生に向けて積極的にアドバイスをくれたり、かかわり方の手本となる生徒を紹介して、小学生の感謝の思いを高めたり、中学生に達成感をもたせたりさせる。</p> <p>That's all for today.</p> <p>Thank you everyone.</p>	<p>JTEは、表現を組み合わせながら会話を続けながらかわろうとしていた児童を紹介し、達成感をもたせる。</p> <p>Thank you everyone.</p> <p>Good bye.</p>
---	--	--

(4) 活動内容

【行ってみたい国を交流しよう】

- ・中学生とグループを作り席に着く。
- ・グループの中で、小学生1名と中学生が行ってみたい国の写真を提示しながら行ってみたい国について交流する。小学生は、中学生の様子を見ながら、その国や出てきた事柄について質問をしたり、中学生からの質問に答えたりする。また、伝え方についてのアドバイスをもらったりもしながら交流をする。
- ・交流して分かったことをワークシートに記入する。
- ・交流をした児童以外は、やりとりをきいて会話の仕方の評価をする。
- ・1組目の交流が終わったら、中学生からアドバイスをもらい、次の児童が同様に交流をする。

【活動図】

